

ほぼたきHP版

大分大学教育学部

附属小学校

平成29年5月22日

18日木曜日の中休みに予告なしの避難訓練を行いました。しかし、全くの予告なしで行うと、「混乱」が原因で、危険が生じることが考えられましたので「今週のどこかで行います」ということは伝えておきました。

実際に行って本当に良かったです。「課題」がはっきり見えてきました。

○静かに指示が聞けるか

○周りの状況から自分で判断できるか

○「おはしも」ができているか

今回この3つの視点で見ていきましたが、残念ながらどれも不十分でした。

非常ベルが鳴ると同時に校舎に向かって全速力で走る子ども。放送が始まってもしゃべり続ける子ども。混雑しているのに全速力で走り、校舎に入っても走り続ける子ども。「自らの命を守る」には冷静な判断が必要ですが、冷静さを欠く行動が多く見られました。

今回は実習の先生もいてくれ、安全面に配慮した声掛けを要所でしてくれたおかげで、大きなけがや混乱は防ぐことはできたものの、もしこれが本当の地震だったら思うと・・・。

しかし、高学年の中には「放送聞いて!」「走らないで」と声をかける子どももいましたし、3階に避難（今回は津波想定での避難訓練）するころには、ほぼ全員冷静になり、屋上で混乱することはありませんでした。

見えてきた課題を解決するために何が必要か、早急に反省し、日頃の授業や生活と関係づけながら指導していきたいと思えます。

とりあえず、「放送が始まったら聞く」ことは徹底せねばなりません。

